

V

# 現場写真撮影基準

# 現場写真撮影基準

## 目次

第1章 一般事項.....	3
1-1 適用.....	3
1-2 撮影箇所.....	3
1-3 撮影方法.....	3
1-4 写真の省略.....	3
1-5 工事写真の整理方法.....	4
第2章 撮影内容及び頻度.....	5
第3章 撮影要領.....	9
3-1 材料検収写真.....	9
3-2 出来形管理写真.....	9
3-3 品質管理写真.....	10
3-4 検査状況写真.....	10
3-5 安全管理写真.....	10
3-6 交通管理写真.....	11
3-7 災害写真（現場災害）.....	11
3-8 仮設工.....	12
3-9 管路施設.....	12
3-10 土工.....	12
3-11 基礎工.....	13
3-12 管渠工.....	13
3-13 人孔築造工.....	13
3-14 柵工事.....	13
3-15 推進工.....	14
3-16 仮設工.....	14
第4章 現場写真撮影チェックリスト.....	15

# 第1章 一般事項

## 1-1 適用

工事記録写真の撮影方法は、国土交通省「写真管理基準（案）」及びこの要領により、作成・整理すること。

## 1-2 撮影箇所

撮影は別表1～5に示す箇所の他、工事監督員が指定する箇所、又は記録に残す必要がある箇所について行うこと。

なお、別表1～5は、標準的な撮影箇所を示したものであり、工事監督員の指示がある場合には、工事内容により必要に応じて増減することができる。

## 1-3 撮影方法

1. 撮影内容と頻度については、第2章によるほか、特殊な場合で工事監督員が指示する箇所について撮影すること。
2. 写真には工事件名、撮影場所、撮影年月日、工種名、撮影対象、受注者名、設計・実測寸法、測点（位置）等を明記した黑板等をいれて撮影すること。
3. 場所等の確認を容易にするため、できるだけ付近の家屋等の背景を入れること。なお、一枚の写真では位置が不明となる場合は、複数枚撮影するか説明図を添付すること。
4. 写真には所定の施工寸法が判定できるよう、寸法を示す測定器具を入れて撮影すること。
5. 寸法を示す測定器具は、撮影後判読できるものとし、次のいずれかを使用すること。  
① スタッフ ② リボンテープ ③ 定規等
6. 構造物にスタッフ等をあてる場合は、目盛の零位点に留意すること。
7. 寸法読みとりの定規は水平又は鉛直に正しくあて、かつ、定規と直角の方向からできるだけ一定方向で撮影すること。
8. 画像編集は原則として認めない。ただし、撮影内容を容易に確認するため、回転、パノラマ、明るさ補正を行う場合は、工事監督員の承諾を得ること。
9. 写真はカラーとする。  
有効画素数は黑板の文字が判読できることを指標とする縦横比は3：4程度とする（100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度）。

## 1-4 写真の省略

工事写真は次の場合に省略するものとする。

1. 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
2. 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
3. 工事監督員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

#### 1-5 工事写真の整理方法

1. 工事写真の整理方法は次によるものとする。工事写真の原本を電子媒体で提出する場合は「デジタル写真管理情報基準国土交通省」に基づき整理して提出するものとする。
2. 工事写真については、下記の順に上から重ねること。
  - (ア) 着手前・完成
  - (イ) 安全管理
  - (ウ) 使用材料（及び品質管理写真）
  - (エ) 使用機械
  - (オ) 施工状況写真（現場毎・出来形管理写真を含む）
  - (カ) その他

## 第2章 撮影内容及び頻度

区分	工種	項目	写真管理項目	
			撮影種目	撮影箇所
工事状況写真			1.工事着手前及び工事完成写真	工事着手前及び完成写真は、全景及び部分写真とし関連のつく箇所を対比できるように撮影すること。
			2.工事施工中の写真	その他の撮影箇所は、設計図書又は工事監督員が指示する。
			(1) 施工状況写真	
			(2) 検収写真	
			(3) 品質確認写真	
			(4) 図面等と現地との不一致の写真	
			(5) その他施工中の写真	
			3.工事中の安全管理関係写真	
でき形管理用写真			1.管布設工，管基礎工，マンホール設置工，函きょ工等の出来形寸法。	完成後，明視できない箇所について，撮影詳細の規定により撮影する。
			2.埋戻し工，路盤工のまき出し厚，地盤線の変化点に寸法等。	
			3.路盤工，舗装工の厚さ・法等。	
			4.コンクリート工等の鉄筋，鉄網，伸縮継手等の鉄筋の位置，組立寸法等。	
			5.その他	
工事中の災害写真			1 被災前の写真（上記の各種目の写真と兼用できる） 2 被災中の写真 3 被災後の写真 (1)全ぼうの写真 (2)部分写真	

	工種	項目	写真管理項目		留意事項（撮影頻度における）
			撮影項目	撮影頻度	
管きょ工（開削）	土工	舗装取りこわし	カッター作業，舗装取りこわし状況（幅，厚さ）	舗装種別ごと，1 スパン1 箇所以上	舗装厚の変化箇所ごとに撮影する。
		布掘り	布掘り状況（幅，深さ）	1 スパン1 箇所以上	
		掘削	掘削状況（幅，深さ）	1 スパン1 箇所以上	機械掘り，手掘り等掘削方法別かつ土質変化ごとに撮影する。
		床付け	床付け状況	1 スパン1 箇所以上	
		埋戻し	埋戻し状況（埋戻しの材質別厚） 転圧状況（仕上り層ごと）	1 スパン1 箇所以上	管周りの突固め状況は層毎に必ず撮影する。
		残土	残土搬出状況 受入場での作業状況	受入場ごと，2 回以上	仮置き場の搬入前後が確認できること。
	基礎工	—	設置状況	1 スパン1 箇所以上	
			基礎の厚さ，幅，据付け寸法，配筋状況等	埋戻し工程ごと	
	布設及び築造工	布設工	布設状況	1 スパン1 箇所以上	管に記入した管番号が，写真に入るよう撮影する。
			布設後	埋戻し工程ごと	
築造工		配筋，型わく設置およびコンクリート打設状況，配筋寸法，継ぎ手長・鉄筋かぶり，壁厚・施工継ぎ目，仕上がり寸法等	1 打設区間1 箇所以上		
マンホール工	土工	—	管きょ工（開削）参照	管きょ工（開削）参照	
	基礎工	—	同上	同上	
	設置工	—	モルタル施工状況，シール材設置状況，ブロック設置状況	マンホール種別ごと，1 箇所に1 箇所以上	
	築造工	—	配筋，型わく設置及びコンクリート打設状況配筋寸法継ぎ手長・鉄筋かぶり，壁厚・仕上がり寸法等副管，側塊類据付け状況	築造箇所ごと	頂版，底版，躯体ごとに撮影する。
取付管及び柵工	土工	—	管きょ工（開削）参照（残土は除く）		
	基礎工	—	設置状況（幅，厚さ）	柵種別ごと，5 箇所に1 箇所以上	
	柵設置及び取付管布設工	—	支管取付状況，側塊類据付け状況，インバート状況，取付管布設状況		
	取付管布設後	—	取付管布設後	布設箇所ごと	撮影箇所がわかるように，背景を入れて撮影する。
	柵設置後	—	柵設置後	設置箇所ごと（埋戻し前及び埋戻し後）	
仮設工	土留工	—	使用部材の形状，寸法，土留め設置状況，打設，引抜き及び支保工設置状況，土留め杭打設間隔，腹起し，切梁材取付け間隔	土留め工法別に，1 スパン1 箇所以上	土留め工の全体状況が把握できる写真も撮影すること。
	覆工	—	使用部材の形状，寸法，桁及び覆工板設置状況，路面とのすり付け状況	1 スパン1 箇所以上	
	仮締切工	—	設置状況（形状，寸法）	箇所ごと	設置前，設置後及び取除き後に一定方向から定点をもって撮影する。
	仮排水工	—	設置状況（形状，寸法）	種別ごと，1 箇所以上	沈殿槽，排水先が確認できること。

	在来施設物 防護工	—	つり防護, 受け防護等の状況, 施工中 (設置時) 埋戻し直前	原則として箇所ごと	
	水替え工	—	水替え施設設置状況	1 スパン 1 箇所以上	ポンプの口径・台数が確認できること。
		—	配筋, 型わく設置およびコンクリート打設状況, 配筋寸法, 継ぎ手長・鉄筋かぶり, 壁厚・施工継ぎ目, 仕上がり寸法等	1 打設区間 1 箇所以上	
	保安および安全施設工	—	各種標識設置状況, 歩行者通路等各種保安施設設置状況および点検状況, 交通整理状況	1 工事 2 箇所以上	
	その他	—	広報板設置状況等仮設道路状況	1 工事 1 箇所以上	
付帯工	舗装工	—	各層別舗装状況代表箇所各 1 枚転圧状況, 層厚, コアータックコート, プライムコート散布状況	舗装種別ごと, 1 箇所以上, 又は 200m に 1 箇所以上	
	道路付属物 復旧工等	—	配筋, 型わく設置及びコンクリート打設状況配筋寸法継ぎ手長・鉄筋かぶり, 壁厚・仕上がり寸法等副管, 側塊類据付け状況	築造箇所ごと	頂版, 底版, 躯体ごとに撮影する。
管きよ更生工	更生工	—	挿入状況 硬化状況	1 スパン当たり 1 回	挿入状況には, 圧力管理状況等を含む。 硬化状況には, 温度管理状況等を含む。
		—	本管口切断状況 取付管口削孔状況	1 スパン当たり 1 箇所	
	出来形確認 工	—	本管仕上り状況	10m 辺り 1 箇所	1 スパンが 10m 未満の場合は, 1 スパンに 1 箇所とする。
		—	取付管口仕上り状況	1 スパン当たりの取付管個数の 1/2 以上	取付管口を側視した状況を撮影する。
		—	本管口仕上り状況	1 スパン当たり 2 箇所	
	現場試験及 び室内試験	—	現場試験用の試験片の採取状況	採取ごとに 1 回	
—		試験実施状況	試験ごとに 1 回		
材料検収	材料検収	—	検収実施状況, 数量, 形状, 寸法	各品目ごと	材料の規格・寸法・メーカー名が確認できること。
品質管理	品質管理	—	主要材料の各種試験実施状況 現場測定実施状況	各試験・測定ごと	
公害防止	騒音振動調査工	—	使用機器及び測定状況		
	地盤沈下測定工	—	測定作業実施状況		
状況 建設副産物リサイクルの	建設発生土	—	・運搬状況 ・運搬経路 ・現場内利用状況 ・工事間利用状況 ・ストックヤード状況 ・受入地状況 (再資源化施設等を含む)	運搬中を適宜 // 処理中を適宜 // // //	代表箇所各 1 枚
	建設廃棄物	—	・運搬状況 ・運搬経路 ・現場内利用状況	運搬中を適宜, 追跡写真を適宜 処理中を適宜 //	建設廃棄物品目別に代表箇所各 1 枚, マニユフェスト管理

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事間利用状況</li> <li>・再資源化施設状況</li> <li>・最終処分場状況（直接最終処分の場合）</li> </ul>	// // //		
	現場での分別の状況	—	現場内・現場事務所等における建設発生土、建設廃棄物及び一般廃棄物の分別状況、収集状況	適宜	代表箇所各1枚
	再生資源の利用状況	—	再生砕石、再生アス混、改良土、粒状改良土、流動化処理土、メトロレンガ、コンクリート塊、建設泥土等の再生資源の利用状況	使用状況を適宜	代表箇所各1枚

## 第3章 撮影要領

### 3-1 材料検収写真

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○鋼矢板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼矢板の形状寸法（タイプ・長さ）が確認できるように撮影する。</li> <li>・リボンテープを用いて長さが確認できるように撮影する。</li> <li>・ペンキ等で鋼矢板に1mごとにマーキングをして、テープを合わせて撮影する。</li> <li>・鋼矢板の枚数が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○鋼製支保工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形状寸法は各々のタイプごとにどこの部分の支保工であるか、黒板に略図を記入して撮影する。</li> <li>・現場に搬入された製品の形状寸法が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○コンクリートブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重量の確認状況は必要に応じて撮影する。</li> <li>・現場に搬入された製品からコアを抜きとった状況写真を撮影する。</li> <li>・現場に納入された製品と関連がわかるように、製作年月日を入れて撮影する。</li> </ul>	
○木矢板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木矢板の形状寸法（幅、厚さ、長さ）が確認できるように撮影する。</li> </ul>	

#### ◎注意事項

- ①バックに現場状況の一部を入れて撮影するように心がける。
  - ②立会者を入れて撮影するとよい。
  - ③黒板には設計値と検収寸法を対比して記入し撮影する。
- なお黒板には検収年月日も入れるように心がける。

### 3-2 出来形管理写真

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○コンクリート工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎材の幅と厚さの出来形確認状況。</li> <li>・型枠取外し後、幅、高さ、厚さの出来形確認状況を撮影する。</li> <li>・施工後、幅、高さ、厚さの出来形確認状況。</li> </ul>	
○街渠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造物が地下になる場合は、埋戻し前に幅、厚さ、長さの出来形確認状況を撮影する。</li> </ul>	
○排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内空断面の寸法出来形確認状況も撮影する。</li> </ul>	
○アスファルト舗装（打換修繕も含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コア採取厚さ測定および舗装厚（コア）の出来形確認状況を撮影する。</li> <li>・コア採取厚さを測定の際は、交通安全管理（バリケード）等を考慮し撮影する。</li> </ul>	
○路盤工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整正後の整正状況</li> <li>・基準高、凹凸、横断勾配の確認状況。</li> <li>・撮影する際は、立会者を入れて撮影するとよい</li> <li>・整正後の厚さ、出来形確認状況。</li> </ul>	
○基礎工（矢板基礎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打込前の矢板長および打込後の位置、打込状況、数の確認状況。</li> <li>・完了後の通りおよび枚数を目視できる写真を撮影する。</li> <li>・打込み前に各矢板に1mあるいは0.5mごとの寸法と番号を記入して撮影する。</li> </ul>	

#### ◎注意事項

- ①撮影する箇所は原則として出来形を検収する測点において、また構造物については出来形の管理を行う箇所検収と同時に各々撮影する。
- ②黒板には設計値と出来形寸法を対比して記入し撮影する。
- ③擁壁工、ブロック積工、橋台工、橋脚工等のように、完成後明視できない部分のある構造物については、埋戻し前に、根入れ寸法の確認ができるように撮影する。

### 3-3 品質管理写真

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○骨材粒度試験	・試験器具も含めて撮影する。	
○スランプ試験	・試験状況を試験器具も含めて撮影する。	
○空気量測定	・測定状況を測定器具も含めて撮影する。	
○圧縮強度試験	・供試体の作成年月日，製作状況，試験状況を試験機も含めて撮影する。	
○フロー値測定	・測定器具も含めて撮影する。	
○膨張率測定	・測定器具も含めて撮影する。	
○打設温度測定	・温度計の目盛が確認できるように撮影する。	
○養生温度測定	・測定器具も含めて撮影する。	
○テストハンマー強度試験	・測定器具も含めて撮影する。	

#### ◎注意事項

- ①写真には黒板または掲示板を使用し，何の試験または何の測定であるか試験名を明記し，撮影する。
- ②試験および測定等に使用した機器類は後で確認できるように撮影する。
- ③試験および測定の年月日は必ず明記して撮影する。

### 3-4 検査状況写真

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○材料検査	・外形寸法，検査実施状況について各項目ごとに1回撮影する。	
○段階検査	・工事の施工検査，立会施工の実施状況を各項目ごとに1回撮影する。	

#### ◎注意事項

- ①工事完成後，明視できない箇所については，施工段階ごとの写真を撮影するように心がける。
- ②外部からの観察，施工管理の状況を示す出来形図，写真等により当該出来形の適否を判定することが困難な場合は，必要に応じて破壊検査を行い，その状況写真を撮影するように心がける。

### 3-5 安全管理写真

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○標識	・施工の安全を確保するための標識設置状況。標識は正規のもの以外に補助標識も合せて撮影する。	
○保安柵	・安全管理上必要な保安柵の設置状況。 ・工事現場内立入禁止等の看板設置状況。	
○足場	・作業上必要な作業足場，足場板，手摺，落下防止網等の設置状況。 詳細部が必要な場合は，アップで撮影する。	
○道路	・作業通路として設置した階段，栈橋の設置状況，通路の高さ，幅等は詳細にアップで撮影する。	
○防護柵	・工事作業員および一般通行者の安全管理を確保するための防護柵設置状況。	
○その他	・安全教育（安全作業標準），ツールボックス，ミーティング等の実施状況。 ・安全管理員または社内検査等による安全パトロールの実施状況。	

#### ◎注意事項

- ①安全管理を推進するにあたって実施した，労働安全管理対策，工事安全管理対策，建設工事の公衆災害防止対策等についても，具体的な実施状況写真を撮影する。

### 3-6 交通管理写真

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○標識	・交通管理に必要な各種標識類の設置状況。（予告標識類，規制標識類，工事標識，工事協力依頼標識等）	
○交通処理	・交通処理に伴う規制標識，誘導標識等の設置状況，交通誘導警備員等による交通処理状況。	
○交通処理歩道	・標準類と交通処理状況を合わせて撮影することが望ましい。	
○交通処理横断	・仮歩道等を設置し，歩行者用通路として標識または交通誘導警備員による安全確保の状況。	
○歩行者誘導	・生コン車等工事に関連した車輛の出入がある場合の交通処理状況。	
○保安柵	・横断歩道が一時移動した場合，交通誘導警備員による歩行者の誘導状況。	
○夜間交通処理	・一般交通の安全かつ円滑な運行と事故防止対策のための保安柵設置状況。	
	・夜間工事における交通処理状況，規制標識，誘導標識および交通誘導警備員等による交通処理状況。	

#### ◎注意事項

- ・工事現場で事故等が発生し，管理かし等の問題が生じた場合の証拠写真となる重要なものである。

### 3-7 災害写真（現場災害）

撮影項目	撮影要領（内容・留意事項）	備考
○被災前	・工事着手前の現場状況写真。	
○災害防止措置状況	・二次災害を防ぐために施工された仮復旧工事の状況写真。	
○被害中写真	・被害の変化状況がはっきり把握できるように撮影する。 増水による氾濫の場合は，水位計の値が把握できるように撮影する。	
○被災後	・写真の大きさはキャビネ半切以上とする。 ・写真には撮影月日，流水方向（または路線の方向）起終点および測点を朱インクで記入する。 ・構造物等の被災は破壊状況を明確にするため，スタッフ，ポール，巻き尺を用いて標示し撮影する。	
○その他（工事起因災関係）	・想定される影響区域の物件調査状況。詳細部分についてはアップで撮影するよう心がけること。 ・検測用に設置した機器類の検測状況と現場の状況を合わせて撮影するよう心がける。	

#### ◎注意事項

##### ①全景写真

- ・全景と延長を同一写真に納める。
- ・被災箇所は延長，被災箇所の下端まで同一写真に納める。
- ・被災延長および規模の大きい場合は，写真を数枚つなぎ合わせて全景とする。
- ・起終点には必ずポールを立てて撮影し，距離が判別できるようにする。
- ・起終点および測点を朱インクで写真に表示する。

##### ②部分写真

- ・横断地形が容易に判断できるようにする。
- ・復旧工法に応じて部分的に撮影する。
- ・道路の場合，断面幅員がわかるように撮影する。

- ③常気象時には，日々の工事進捗状況が把握できる写真を撮影するよう心がける。

### 3-8 仮設工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○構造物の設置状況 ○主要資機材および出来形の確認。 ○撤去後、完成後の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置状況。</li> <li>・幅員等の形状寸法と材料の規格形状。</li> <li>・打込み機械の種類と材料の形状寸法および出来形の確認</li> <li>・排水ポンプの性能、台数。</li> <li>・使用機器の性能及び台数。</li> <li>・主要材料。</li> </ul>	

#### ◎注意事項

- ・いずれも、全景写真と部分写真の組合わせとする。

### 3-9 管路施設

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○現場状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着工前と完成後は必ず同一箇所を同一方向から全景で確認できるように撮影する。</li> <li>・起終点には必ずポール等を立て撮影する。</li> <li>・管路施設においては各路線ごとに撮影する。</li> <li>・写真説明には施工区分を明示する。</li> <li>・終点が明白でない時は、終点側からも撮影する。</li> <li>・施工延長が長く1枚で納まらない場合は、継写して撮影し全延長が確認できるように整理する。</li> </ul>	

### 3-10 土工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○掘削状況 ○埋戻土投入および埋戻状況 ○残土処理状況 (仮置き土状況含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人力床均と機械掘削の範囲区分が確認できるように撮影する。</li> <li>・作業員、使用掘削機等の状況が同時に確認できるように撮影する。</li> <li>・埋戻土投入及び埋戻しの際、衝撃により埋設管の亀裂、横ずれ、継手のゆるみ等を生じるおそれがあるので、現場の作業条件と埋設管への影響の程度に応じ、人工施工、機械施工の範囲区分を明確にし確認できる状況写真を撮影する。</li> <li>施工範囲区分及び埋戻し土投入落下等の基準は「下水道工事標準仕様書」に準ずる。</li> <li>・埋戻し転圧は層状転圧状況が確認できるように撮影する。</li> <li>・各層ごとの層状転圧完了状況の全景も同時に撮影する。</li> <li>・埋戻し転圧は、埋戻し層厚及び層状転圧状況が確認できるように撮影する。</li> <li>・残土搬出前、搬出後に同一箇所、同一方向から全景で確認できるように、また黒板に必要事項を記入して撮影する。(位置、面積、月日を明記)</li> <li>・搬出時の運搬車の運搬状況(車両ナンバー)、捨土及び、捨土均し状況を使用機械を入れて撮影する。</li> <li>・必要に応じて捨土土量が確認できる写真を撮影する。)</li> </ul>	

### 3-1-1 基礎工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○砂利基礎及び砂基礎	・基礎材の敷均し、転圧状況及び厚さ、敷設幅等の出来形の測定をリボンテープ、スタッフ等で確認できるように撮影する。	
○コンクリート基礎	・型枠設置、打設、養生、脱型等一連の過程が確認できるように撮影する。また、出来形の寸法確認は上記と同様に撮影する。	
○その他	・全景写真として設計前と設計後が対比できるように同一箇所での撮影する。	

#### ◎注意事項

・出来形寸法確認写真で目盛が読みとれない場合は、寸法確認状況の全景を写し、更に目盛を確認できる拡大写真を撮影しておくのがよい。また、黒板には必ず設計値、実測値を記入して撮影する。

### 3-1-2 管渠工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○布設状況	・管本体を人力（及び機械）で、設置箇所まで搬入し布設している状況や特にジョイント部の設置状況が確認できるように撮影する。 ・布設完了後の全景写真も撮影する。	
○設置数量確認状況	・管に番号をスプレー等で記入し本数が確認できるように撮影する。 ・4-1-3 基礎工参照	
○基礎部分	・使用資材の規格が確認できる状況写真を、測定尺等を使用して寸法の読みとれる部分写真と組み合わせで撮影する。	
○資材検測状況	・J I Sマーク等も同時にに入れて撮影する。	

#### ◎注意事項

・管渠布設の場合は、管の継手およびソケットの向き、排水方向を管に「矢印」を記入すれば一層良い写真となる。

### 3-1-3 人孔築造工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○基礎部分	・砂利基礎、コンクリート基礎等の厚さ、形状、設置状況が確認できるように撮影する。 4-1-3 基礎工参照	
○築造部分	・マンホールの立ち上がり状況（据付状況）が確認できるように使用機種も含めて撮影する。 また、設置完了後も撮影する。 ・断熱蓋が確認できるように撮影する。 ・インバート部分が確認できるように撮影する。	

#### ◎注意事項

・人孔設置後の埋戻し（敷均し、転圧）等において層状転圧状況が確認できる写真も同時に撮影する。

### 3-1-4 柵工事

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○柵部分	・柵（汚水柵、雨水柵）の基礎部分は4-1-6 人孔築造工参照 ・柵の設置状況を撮影する。 ・設置完了後も撮影する。	
○取付管部分	・取付管の基礎部分は、4-1-6 人孔築造工参照 ・取付管の布設状況を撮影する。	

### 3-15 推進工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○立杭状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>立杭の掘削状況，残土搬出状況を作業員，使用機械を含めて撮影する。</li> <li>立杭の施工状況及び仕上り状況（幅，長さ，深さ）が確認できるようにリボンテープ，スタッフ等を使用し，部分写真と組み合わせ，全景が確認できるようにする。</li> <li>先導体の形状，寸法が確認できる状況を撮影する。</li> <li>特に，支圧壁仕上り寸法，発進抗口，クレーン，ジャッキ，ストラット等の設置状況及び押輪，中押し設備，泥水処理設備等の設置状況が確認できる部分写真と組み合わせ全景が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○設備状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種推進設備機の設置状況が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○推進状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進掘削状況の一連の作業過程が確認できる部分写真と組み合わせ，全景が確認できるように撮影する。</li> <li>特に，切羽確認状況，残土搬出状況，カラー，中押しカラー据付状況，滑材注入状況，目地及び推進仕上り状況，空伏状況等が確認できる部分写真と組み合わせ全景が確認できるように撮影する。</li> <li>掘削する土質及び湧水状況が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○裏込め状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>裏込め作業状況及び，設備設置状況が確認できる写真を撮影する。</li> </ul>	
○使用資材搬入及び検収	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用資材の搬入状況，及び検収状況が確認できる状況に撮影する。</li> </ul>	

### 3-16 仮設工

撮影項目	撮影要領 (内容・留意事項)	備考
○土留工	<ul style="list-style-type: none"> <li>木矢板，建込パネル，鋼矢板，H鋼またはI型鋼等の土留使用部材の形状寸法が確認できるように測定尺等を使用して撮影する。</li> <li>土留工の設置状況及び撤去状況が確認できるように作業員及び使用機械を含め，部分写真と組み合わせながら全景が確認できるように撮影する。 (打設，引抜き，支保工設置状況，土留くい打設間隔状況，腹起し，梁材取付間隔状況など)</li> <li>リボンテープ，スタッフ等で出来形寸法を確認し，部分写真と組み合わせ土留工全景が把握できるように撮影する。</li> <li>測定尺等による使用部材の形状寸法が確認できるように部分写真と組み合わせ，全景が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○覆工	<ul style="list-style-type: none"> <li>覆工板設置状況及び撤去状況が，作業員及び使用機械を入れ，部分写真と組み合わせ全景が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○仮締切工	<ul style="list-style-type: none"> <li>覆工と同じ</li> </ul>	
○仮排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>覆工と同じ</li> </ul>	
○水替え工	<ul style="list-style-type: none"> <li>覆工と同じ</li> </ul>	
○保安施設工	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種機械設置状況が確認できるように撮影する。</li> <li>特に，歩行者通路等の各種保安設備の設置状況，点検状況，交通整理人状況が確認できるように撮影する。</li> </ul>	
○その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮設材の運搬，搬入，搬出状況を確認できるように撮影する。</li> </ul>	

## 第4章 現場写真撮影チェックリスト

編集順	工種区分	撮影事項	～			～			～			～			～			～					
			下流	中流	上流																		
1	全景	工事着手前																					
		工事竣工後																					
2	保安設備	工事標識																					
		安全施設																					
		夜間照明																					
3	試験掘り	試験掘り状況																					
		その他																					
4	舗装取り壊し	舗装切断、舗装取り壊し																					
5	掘削	掘削状況																					
		掘削寸法(土留め完了)																					
		床均し状況																					
6	土留め	打込み・建込み状況																					
		支保材取付状況																					
		矢板・支保材寸法																					
		矢板引抜き状況																					
7	水替え	水替え状況																					
		排水状況																					
8	布設	基礎状況																					
		布設状況																					
		布設完了																					
9	管連絡	マンホール接続状況																					
10	埋戻し	転圧状況																					
		埋戻し状況																					
11	マンホール	基礎状況																					
		ブロック積上																					
		調整ブロック・鉄蓋																					
		裏込砂利																					
		インバート																					
		断熱蓋																					
12	簡易ホール	副管設置																					
		簡易ホール・立上げ管																					
		基礎砂利																					
		ブロック積上																					
13	汚水枡	出来形																					
		支管取付け																					
	雨水枡	取り付け管																					
		基礎砂利																					
		枡設置																					
		防護枡																					
14	路盤工	裏込砂利																					
		出来形																					
		不陸均し																					
15	舗装復旧	敷き均し																					
		転圧																					
		舗装仮復旧																					
16	残土捨場	舗装本復旧																					
		搬入前																					
17	品質管理試験	一時置土場																					
		運搬作業																					
18	埋設管防護	搬入後																					
		使用材料検収																					
		使用材料品質検査																					
18	埋設管防護	露出時保護状況																					
		埋戻し時保護状況																					

(注) 撮影が完了したものは塗りつぶす。